

せん じゅ ち しき じん 千 住 の 知 識 人

— 近代の学問を支えた千住の人々 —



▲河合栄治郎

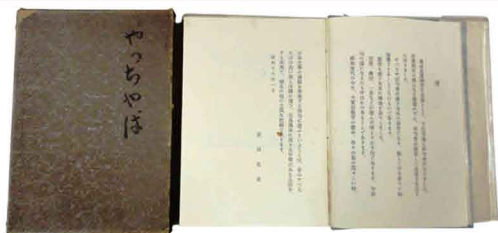


▲千住の森鴎外碑(千住1-30-8)

千住は多くの知識人を生み育てました。日本の経済史学を確立した内田銀蔵は、千住仲町の川魚問屋鮒与第十一代内田与兵衛の長男として明治5(1872)年に生まれました。明治の文豪森林太郎(鴎外)も、父静男が南足立郡医となったことにともない、青年期の多くをここ千住で過ごしました。千住二丁目の酒屋徳島屋の二男として生まれた河合栄治郎も、東京帝国大学教授を勤め自由主義思想家として名を馳せました。千住河原町"やっちゃ場"蔬菜問屋大喜の出身の俳人為成菖蒲園も『ホトトギス』の高浜虚子らに師事し、多くの名作をのこしています。

橋井堂医院について

明治12年(1879)、森鴎外の父・静男は、南足立郡医となり千住に転居。「橋井堂医院」を開業しました。下宿していたこの当時、鴎外・森林太郎も度々実家を訪れています。卒業後は、千住に住み、父とともに医療活動を行いました。明治22年(1889)に結婚するまで、林太郎は千住で暮らしています。



▲句集「やっちゃば」(福島家文書)